

令和6年度第3回平塚市市民活動推進委員会 議事録

日 時 令和6年11月8日（金）午後2時から午後4時15分まで
場 所 ひらつか市民活動センター 会議室B
出席者 松田委員、和久井委員、市川委員、辻委員、能勢委員、中野委員、
事務局
傍聴者 なし

1 市民活動センター上半期利用状況、事業実施報告

市民活動センター上半期利用状況、事業実施報告について事務局から説明した。

〔委員からの意見・質問等〕

- 〈委 員〉： 重層支援は、ステージ毎に欲しい支援が違う。横の支援は割と充実しているが、縦で考えるとつなぎとつなぎの部分が隙間となって、具体的にどの支援をどこに頼めばいいかわからない部分がある。
- 〈委 員〉： 横の支援にも同じようなことが言える。当事者に対する横の支援は充実しているが、当事者を周りで支える家族などの横の支援は手薄になっている。目に見えない虐待に関して、見逃されがちであるから、当事者の為にも周りの家族の支援が一番大事である。
- 〈委 員〉： フォーマルな支援というのはピンポイントでは少なく、インフォーマルな支援が使いやすくなるとよい。フォーマル、インフォーマルをうまく利用しながらやっていけたらと思う。インフォーマルな部分へのつなぎをひらつか市民活動センターで担ってくれたらと思う。
- 〈事 務 局〉： 市でも、通いの場の活動への支援を行っている。地区で認知症の予防のために、卓球や囲碁などをする場を用意しており、平塚市内に100以上ある。通いの場の申請を市に行い、申請が通ると通いの場の運営資金がおりる仕組みになっている。地域包括ケア推進課でやっている。そこをもっと知ってもらえればいいのにと思っている。高齢者だけでなく、若年性の認知症の方々にも広まれば、行き場があるということになる。今ある場を活かしてどうつなげていくかが重要になってくると思う。
- 〈委 員〉： シニア世代のボランティアの方とマッチングできると良いと思う。
- 〈事 務 局〉： その通りで、令和6年度の推進補助金の団体であるボッチャと野球の団体は、高齢者にもスポーツを楽しんでもらおうとしており、連携できればいいなと考えている。
- 〈委 員〉： 防災座談会をひらつか市民活動センターで活発にされているので、心強く感じているが、自団体は支援をする側ではなく、支援をしてほしい側である。支援をしてほしい側の団体を事前に集めて、支援できる団体とのマッ

チングができるとすごく助かる。

〈事務局〉： 受援力というが、助けたい人の声はあがるが、助けてほしい人の声は届きにくい傾向がある。困っていることの把握ができなければ、助けることが難しいので、今後検討していく。

〈委員〉： 実際の災害が発生した際の取りまとめ役はどこになるのか。

〈事務局〉： ひらつか市民活動センターに登録している市民活動団体の取りまとめは行っていく。連絡体制はこれから構築していこうと考えている。

〈委員〉： 多くの災害支援の団体があるので、活躍の場があればいいなと思う。

〈事務局〉： 今年度、はじめて平塚市でボランティアセンターが設置された。設置当日に利用状況を確認したところ、1 件のみであった。こういったアウトリーチが必要なのかというところも、模索中である。今回は土砂や浸水が主な被害であり、現在ひらつか市民活動センターに登録している市民活動団体では対応が難しかったが、JC が積極的に活動をしていた。災害の規模や被災の状況について把握していないと、適切な対応ができない点も難しいと感じている。

2 令和7年度平塚市市民活動推進補助金のスケジュールについて

〔委員からの意見・質問等〕

〈委員長〉： 令和6年度から令和7年度の変更点はないのか。

〈事務局〉： 令和6年度は、申し込みの期間を長くし、申請団体が10団体に増えたこともあり、前年と同様としている。

〈委員長〉： 何を見て応募されるのか。

〈事務局〉： 広報ひらつかとひらつか市民活動センターの facebook などを見て申し込みがある。公民館などにもチラシを配架している。

〈委員長〉： 応募される方がどこを見て応募されたかはわかるのか。

〈事務局〉： わからないが、募集時期を気にかけている方からの窓口への相談はある。

3 提案型協働事業の進捗状況

令和7年度実施事業について事務局から説明した。

〔委員からの意見・質問等〕

〈委員〉： 団体と協働の経験のある職員がいたら、協働事業につながりやすいと思う。

〈委員〉： 協働事業は市民活動団体と行政が同じ方向を向いていないと、相乗効果が生まれないと思う。学校に出向いてということが関係あるかもしれない

が、あいあいリトミックと学校との温度差を感じる。

〈事務局〉： 実施校の選定から行う必要があり、今の段階から具体的なニーズを調べながら進めていく予定と聞いている。

〈委員長〉： 役割分担のところで、アンケートは団体が作ることになっているが、教育の専門家的な視点を盛り込んだ方が良いのではないか。

〈事務局〉： 今回は、市民提案型ということでこの形になっている。

〈委員長〉： 教育的な視点が必要だと思うので、一緒に作ってもらうのが良いと思う。

4 第6回平塚市みんなのまちづくり事例表彰の選考（非公開）

第6回平塚市みんなのまちづくり事例の選考を行い、11事例の年間大賞を決定した。

閉会